



東京金山会通信

No.43

問い合わせ

東京金山会 広報担当 (藤山善夫)
☎080-5525-0435
✉fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

山形県人・東京連合会 参加報告

去る9月4日、令和4年度 第84回山形県人会東京連合会総会・県人まつりが、東京都千代田区のホテルニューオータニで開催されました。東京金山会からも、最上地域ふるさと連合会の一員として計4名で参加いたしました。

東京金山会総会と同じく3年ぶりに開催。第一部の総会では、同会石澤会長からの「果たして何人の参加が見込めるのか、不安があったが、開催することの意義を感じた。多くの方々に出席いただき、何よりの喜び」との挨拶があり、続いて来賓の吉村山形県知事が祝辞のなかで「連合会がふるさと山形の応援団として支援・協力されていることを心強く思う」と謝意を述べられました。

第二部では「県人まつり」として、歌謡ショー、花笠踊りの演目。山形県が誇る県産品の数々の抽選会など、コース料理とともに、盛大なものとなりました。



▲会場・ホテルニューオータニ（東京・千代田区）



▲会場内の様子

参加者のコメント

例年なら900人くらいの出席者ですが、3年ぶりの今年は500人弱でした。和やかで落ち着いた感じの総会という印象を持ちました。準備をされた方のお話のなかで「果たして無事に開催できるのか、どのくらいの人気が来てくれるのかずっと不安だった」という言葉があり、印象に残りました。会合の大小はあれ、主催する側の気持ちはどこも同じなんだと感じました。会場では、見知ったお顔をお見かけすると、何だかとても嬉しく、ホッとしたのを覚えています。

山形県人会としては、次回はコロナ前を超える1000人の参加を目指したいとのこと。さらに活動を盛り上げたい想いですね。東京金山会としても、会の活動が少しでも山形県全体を盛り上げていくことへつながっていけばと考えています。

金山杉俳句会報 第四六八回

三峰に紫雲耀ふ豊の秋 清流に彩り添えし大花野 栗田 弥超	刈り終し稻の匂ひに深呼吸 艶やかな芒の穂揺れ遊歩道 阿部 一代	神室山裳裾をばかしに蕎麦の花 手間暇も地馳でありし栗御飯 高橋 よしそ	振り向けば佇む母に虫時雨 繫す手に止り翅打つ赤どんぼ 鵜沼 洋子	垂れ稻穂出揃ふ里の秋 秋晴か生きの音聞き別れかな 星川 キエ子	蹲踞に落ちて巡れる紅楓 秋清か生活の音聞き別れかな 岸 あき子	暮す 早朝や秋の香りを深呼吸 荒屋 阿部 勝子	秋夜長時間も忘れ筆走る 今年米朝餉の香り噛みしめる 菅 越 庄司 喜美子	短日や朝の出勤急ぐ道 惜みつつ帰らぬ友へ花添へし 七日町 青柳 キエ子	秋風や空は私の自由席 コスモスの花にも似たり母の顔 七日町 柴田 栖静	子供等と遊ぶ狭庭の秋桜 梨を剥き送る主を思ひ出し 荒屋 阿部 勝子	我恩師遺影笑えむ秋彼岸 散る萩に心も和む宝円寺 上台 阿部 一歩	芭蕉曾良歴史めぐりの秋の旅 腰痛を出湯に癒す山紅葉 阿部 一歩
------------------------------------	---------------------------------------	---	--	---------------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------	--	---	---	---	--	---------------------------------------

No.201 「森の子ども図書コーナー」

交流サロンぱすと内



『こねずみトトのこわいゆめ』
(ルイス・バウム/作
スー・ヘラード/絵 德間書店)

こねずみのトトは、かいぶつに追いかけられるこわい夢を見ました。お母さんやお父さんやお兄ちゃんに「どうしたらいい?」と聞くと、みんなは怖い夢を見ないよう

にするいろいろな方法をおしえてくれました。寝る前にあったかいミルクを飲んだり、運動をしてみたり。でも、またかいぶつに追いかけられるこわい夢を見てしまうトト。勇気を出してくるりと振り返ると…? こねずみが勇気を出してがんばりながら成長していく姿を描く微笑ましい絵本です。

謎めいてミステリアスで、どういう結末を迎えるのかなと全く見当がつかず、読んでいてハラハラドキドキしてしまいます。

口ナ禍の今読んでほしい小説です。「叶わない未来かもしれない。だけど、もしその未来が来なくても大丈夫なように、僕はもっともっと強くなりたかった」進みたくてもやはり光となつて救われる。そんな時にちょっとした人の繋がりが光となつて救われる。心が大きがりに感じる瞬間。そんな時にポツカリと穴が空いてしまった人達の物語。

（蓬美澄／文藝春秋）

（糸井由里恵／三笠出版）

『お医者さんが教える老けない習慣』



同じ年齢を重ねていても若々しく見える方、老けて見える方がいるのはなぜでしょう。それは年齢を重ねる時間は同じでも習慣は一人ひとり違うからです。同じ人であっても年齢を重ねることを怖がらず、楽ししながら年齢を重ねていましょう。

今月は3冊！



へいわとせんそう (谷川俊太郎)

汝、星のごとく (凪良ゆう)

おいしいごはんが食べられますように (高瀬隼子)

現在、図書室を改善センター内に準備中です。本を借りたい方は、教育委員会にお電話ください。
秋の夜長のお供にお気に入りの一冊を見つけてみてはいかがでしょうか。

☎52-2902

スポーツの秋

「自分が判断が正しかったのか間りがどうぞ」といいます! 大会や目標に向かうまでの過程で様々な問題と葛藤の中、選択と判断を行っていたと思います。

「自分の判断が正しかったのか間りがどうぞ」といいます! 大会や目標に向かうまでの過程で様々な問題と葛藤の中、選択と判断を行っていたと思います。



Facebookで活動を発信しています!
ぜひチェックしてください!



集落支援員
菅 一生

違っていたのか、それは選んだ先で正しかったと思えるような行動をしたのかどうかで決まるものではないだろうか

学生時代に指導いただいたコーチの言葉です。当たり前のことはですが、こうした思考もどこか頭の片隅にあってくれればいいなあと、練習に取り組む子どもたちの姿を見てふとそこから来る冬の季節も、町内マラソン大会やスポーツの秋スタートを告げる句に感じられます。

中学校新人戦や小学校マラソン記録会に参加し、キラキラした眼差しのランナーたちに出会いました。そこで、目標を見据える真っ直ぐな眼や固く握った震える掌、こうしたこみ上げる熱い衝動を呼び起こしてくれる場面を目の当たりにしました。

プラスのエネルギーに満ち溢れた子どもたちや健康運動教室の元気な皆さんとスポーツをしていると、そのエネルギーが私自身を突き動かすものとなってくれます。また、ひたむきに頑張るその姿が周囲にも伝わり、誰かの背中を押してあげているのではないか、と活動をしていて感じます。たくさんの元気をいつもあります! 大会や目標に向かうまでの過程で様々な問題と葛藤の中、選択と判断を行っていたと思います。

これから来る冬の季節も、町内の屋内施設を活用して、寒さに負けずどんどん身体を動かしていきましょう!